

# 100万人のキャンドルナイト @Omotesando 開催

表参道・神宮前交差点から表参道交差点まで

2005.12.22

12月22日、厳寒の冬至の夜に100万人のキャンドルナイトが行われました。同潤会アパート跡にオープンする表参道ヒルズの工事が大詰めを迎える2005年師走の表参道。あたたかなあかりの灯った、多彩な行灯の数々が通りを回遊しました。

## ■ Andon が創る街あかり

照明探偵団がこの“100万人のキャンドルナイト”というイベントに関わるようになって、今回が5回目。2005年の夏至からはこれまでの旧渋谷川遊歩道（通称：キャットストリート）から表参道にその舞台を移しました。

「でんきを消して、スローな夜を。」をスローガンに、環境や省エネ、現代社会のライフスタイルについて考え直すという意味も込めて全国的に行われているイベントですが、ここ表参道では多彩な“行灯”が主役となりました。あかりのショッピングバッグやけやきをモチーフにした行灯、傘を照らすような形をしているもの、首からかけられるもの・・・学生たちが作成した様々なタイプの行灯が表参道を回遊しました。

20時に神宮前交差点の大型ビジョンでキャンドルナイトをPRするVTRが流れ、2時間のイベントの始まりです。

## ■あかりのけやき並木

オリエンタルバザー前では、けやきをモチーフとした行灯を連続して並べ、けやき並木に見立てた演出が行われました。シャッターにはショットグラスに入れたキャンドルを利用して、“candle night”の文字を描き、イベントの拠点にもなりました。

“けやき”という表参道のイメージを簡潔に表現するモチーフを、壁掛けタイプ、置くタイプ、手持ちタイプの3種類の行灯として制作。壁掛けタイプは組み合わせてひとつの大きなけやきになるようにシャッターに配置することで、あかりのタペストリーが出現します。その前に置くタイプを連続して設置することで、表参道にあかりのけやき並木を表現しました。そして、手持ちタイプはたくさんの当日スタッフが持って表参道を回遊。まるであかりの灯った小さなけやきが、表参道を動いているようでした。“けやき”をモチーフにしたことで、地元の原宿表参道櫺会の方々にも喜んで頂くことができました。



行灯を組み合わせるとけやきの形が浮かびあがる



オリエンタルバザーのけやき行灯とキャンドル文字

## ■東京タワーの照明を消して、ローソクを灯そう

八千代銀行前には、2004年冬至にキャットストリートに登場したこともある1円玉を使ったインスタレーションを設置。「東京タワーの照明を消して、ローソクを灯そう」をメインコンセプトに、東京タワー一日分の電気代を約3万枚にも及ぶ一円玉で表現しました。一円硬貨を1m×10mの帯状につなげ、さらに一円硬貨で作成したキャンドルスタンドに入れたキャンドルで下から照らし上げています。帯に映りこむキャンドルのあかりが何ともあたたかく、「電気を消して、スローな夜を。」と訴えかけているような作品でした。



神宮前交差点の大型ビジョンではPRのVTRも放映された

■あかりのショッピングバッグ

表参道はたくさんの方がショッピングを目的に訪れる街。2006年2月にオープンする表参道ヒルズをはじめ、たくさんの有名店が軒を連ね、いつもたくさんの方がショッピングバッグを片手に歩いています。モノが溢れてなんでもすぐに手に入る時代・・・そんな時代だからこそ、子供の頃にお気に入りのモノを買ってもらった時の“嬉しい”とか“大切”という気持ちを思い起こして欲しい。そして、買物をした帰りにそっと大切にショッピングバッグを抱えて家まで歩いた気持ちを表現したのが、“あかりのショッピングバッグ”です。

半透明のバッグの中にキャンドルとペットボトルの水が並んで内蔵されているというもの。この作品はキャットストリートでも好評を博してきたもはや定番ですが、回を重ねるごとに改良が加えられ、より完成度の高い作品に仕上がっています。



表参道に集結したオリジナル行灯

■キャンドルワークショップ

生活の木5階のスペースでは、キャンドルにメッセージを入れるワークショップが行われました。カメヤマローソクさんの製品であるメッセージキャンドルにヒントを得て、考えたのがこの企画。メッセージを書いて頂いたカードをキャンドルの下にセットして、火を灯します。ろうが溶けると透明の液状になるので、下に入れたカードのメッセージが浮かび上がって見えてくるというもの。

参加者の方々は、ペンを片手にそれぞれ大切な人のことを考えて、思い思いのメッセージを書き込んでいました。当日は100個用意したセットが1時間あまりで無くなってしまおうという大盛況でした。

冬至の夜、20時から22時までという2時間のイベントでしたが、表参道を通った人たちからは「うわあー、きれい！」という歓声が聞こえてきて、スタッフ一同ほっと一安心。

2006年夏至にもさらに進化した表参道のキャンドルナイトを企画していきますので、皆さまどうぞ期待下さい。



生活の木ではキャンドルワークショップが行われた

(田沼 彩子)

でんきを消して、スロウな夜を。

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。2005年の冬至の日、12月22日、8時から10時の2時間、みんなでいっせいでんきを消しましょう。

ろうソクのひかりで子供に絵本を読んでもあげるのもいいでしょう。しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。

ある人は昔エッセイ、ある人は平明を、ある人は世界のいる場所を生きる人びとのことを思いながら、ブログを書くことは新たな世界の扉をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、文明のもっと大きな可能性を開拓するプロセスであり、私たちは考えます。

人ひとりそれぞれの考えを興に、ただ2時間、でんきを消すことで、ゆるやかにつながって、くちやみのウェブを、形見とにひらけていきますか。

2005年の冬至の日、12月22日、8時から10時の2時間、でんきを消して、スロウな夜を。

**Candle Night**  
@ Omotesando

100万人のキャンドルナイト  
12月22日(木)  
20:00~22:00

2005年〜ANDONが贈る表参道〜  
※全店営業。  
表参道にあたたかみキャンドルのあかりが舞ります。  
あかりのショッピングが手帳をでっぴりにした行灯。  
表参道キャンドルナイトの開催の機会を  
あつたにしてください。

主催：100万人のキャンドルナイト@Omotesando実行委員会  
後援：原宿表参道連合会  
監修：藤田真（東京芸術大学 音楽学専攻 教授）  
演出：藤田真（文化人類学専攻 教授）  
協賛：カメヤマローソク  
協力：東京環境館  
株式会社生活の木  
株式会社オリエントルバザー  
NPO法人 green bird  
Inter FM "Omotesando Breeze"

<MAP開催場所情報>

- ・オリエントルバザー（キャンドルインストール）
- ・八千代ビル（キャンドルインストール）
- ・生活の木 5F（キャンドルワークショップ）

※キャンドルワークショップは18:00〜19:00開催です。

①キャンドルナイトの開催日時  
②各々の参加場所を下記に記す。  
③キャンドルをインストールする。  
※各店が準備したキャンドルにメッセージを書いてください。

当日配布されたフライヤー

# 2005年クリスマスイルミネーション調査報告

クリスマスシーズンが近づくと街はイルミネーションによって一変する。武蔵野美術大学・面出ゼミの学生が、東京とその周辺の2005年イルミネーションを調査した内容をまとめた。

## 武蔵野美術大学面出ゼミ

### ■東京ミレナリオ

友達との約束に30分遅れて東京駅に着いた私。並ぶことは覚悟していたものの、東京駅の改札前から並ぶとは思わなかった。帰りたくなるような人・ヒト・ひと…。高層ビルが立ち並ぶ道を人が流れるままに歩き、いくつかの角を曲がって、遠くに光り輝く東京ミレナリオが見えた。人々は皆、その光り輝く方向に吸込まれていくようだった。

老若男女みんながみんな、口をあげ、目を輝かせ、夢の世界を見ているかのような表情をしている。

光に人は引き寄せられると言うがまさしくそれを証明しているかのようだった。イルミネーションは食事や買い物などのついで見ると言う人が多いのではないだろうか。そんな中、東京ミレナリオは、それだけを見るという目的で訪れる人が多いように思う。しかも・決して期待を裏切らない、素晴らしい光の芸術だ。キャンドルナイトのイベントに参加した後だけに、電気消費量も気になった。

(久保 陽太)

### ■六本木ヒルズ

12月24日、六本木ヒルズに着いたのは夜の7時頃。エントランスプラザでは青、赤、紫、白と色が刻々と変わっていくイルミネーションで輝いていた。色が変わることによってその場の雰囲気が一斉に変わる。

クモの彫刻の背景が赤のイルミネーションに変わると、より一層迫力が強く感じられた。

青い光は六本木ヒルズに合った落ち着きを感じさせる。白でクリスマスの雰囲気がさらに加わり、必ず色の変わり目に白い光を入れることで変化を自然に見せていた。

日本庭園では青いLEDが野原のように一面に散りばめられている。池に青い光が映り込むことで多くの光で埋め尽くされていた。一本の青くイルミネーションされた木がより幻想的な世界を創り出しており、白い光の集積とはまたひと味違った落ち着きがある。けやき坂は青と白色LEDのイルミネーションで輝いていた。統一感のある光は見る人を感動させる魅力をもっている。イルミネーションの特徴は無数の小さな光の集積であるということ。六本木ヒルズのイルミネーションはまさしくその典型的な例だと思う。

(川瀬 さや香)

### ■多摩センターイルミネーション

多摩センターの駅を出て目の前に広がるパルテノン大通りにクリスマスイルミネーションが施されている。

通りの両側の並木とその下の生け垣にライトがつき、光の帯が足下から見上げる高さにまで達して美しい。

駅からパルテノン多摩へと向かうその中心に高さ15メートルのツリーがあり、このライトはLED式のイルミネーションライト。黄色い光の中に青いクリスマスツリーがそびえ立つ。木の下からツリーの中をのぞくと無数の光が頭上に輝いていてこれもきれいだ。並木の外側にあるショーウィンドウにイルミネーションが映り込み、無数の光が反射して幻想的な光景が広がる。とくにツリーの設置されている中央の交差点はGAPのエントランスにもイルミネーションが施されているので、光の量が多く見物だった。

クリスマスシーズンが過ぎてから調査に行ったため、イルミネーションの数は減っていたが、それでも光の回廊の圧倒的なスケールとツリーの存在感で満足できる景色だった。クリスマスの時期には通りに動物のトピアリーが設置され光の動物園が広がって、光が溢れる空間。個人的には光の回廊だけで構成される空間のほうがシンプルですっきりとして好感が持てた。

(平本 明子)



東京ミレナリオに正面から入った瞬間。これを見るために多くの人々が押し寄せた。



六本木ヒルズ・けやき坂。東京タワーを背景に青・白色のLEDが輝く。



プリンス芝公園の青いLEDによるイルミネーション

#### ■東京プリンスホテル

ホテルの窓枠を使って建物全体にジャンボクリスマスツリーを表現したイルミネーションを点灯。また、敷地内のプリンス芝公園の木に約7万3000個の電飾を施し、同公園中央の芝生には約19万個の赤と青の電球を使用した身長40mの巨大なノルウェーのサンタクロース「ユーレニッセ」が現れて、宿泊客を楽しませていた。公園の芝生は面積が広く、高台に有るため見通しもよく、東京タワーや六本木ヒルズなどの高層ビル群を眺めることができる。公園内の青と赤で統一されたイルミネーションと遠くまで見渡せる景色は、他では見ることのできないものだと思う。神聖な気持ちにさせるイルミネーションだった。

(山崎 耕平)



恵比寿ガーデンプレイスでのLaur Meyrieuxによる光のインスタレーション



恵比寿ガーデンプレイス・センター広場

#### ■YEBISU GARDEN PLACE CHRISTMAS EVENT

“Art Installation by Laur Meyrieux～空中を舞う心の妖精たち～”  
心と心が触れ合う瞬間に溢れる、言葉にならない想いの数々。そんな想いの結晶が輝き舞う空間をテーマに、アーティストLaur Meyrieuxが担当する光と音と映像のインスタレーションを展開していた。

メインインスタレーションでは10万個ものシャボン玉が舞い踊るライティングショーも行われた。コンセプトがはっきりしていて、光も工夫されているショーだったが、やはりイルミネーションは場所全体が照らされている方が感動的だと感じた。

(蕎原 愛)

#### ■汐留ライトタワープラザ

汐留地区には3基の色違いのキャンドルツリーが灯されている。このキャンドルツリーはキャンドルアーティスト小泉純司氏によるもので、高さ4.5m、400個のロウソクが毎日点灯される。ツリー自体とても大きいはずなのに、上が吹き抜けで屋外のため、あまり大きさの迫力は感じられない。クリスマスイルミネーションと言えば電飾だが、あえてキャンドルで見せようというのが新鮮。ただ周りが商業空間で明る過ぎ、キャンドルツリーだけが浮いてしまっているように見えたのが残念だった。

(川瀬 さや香)

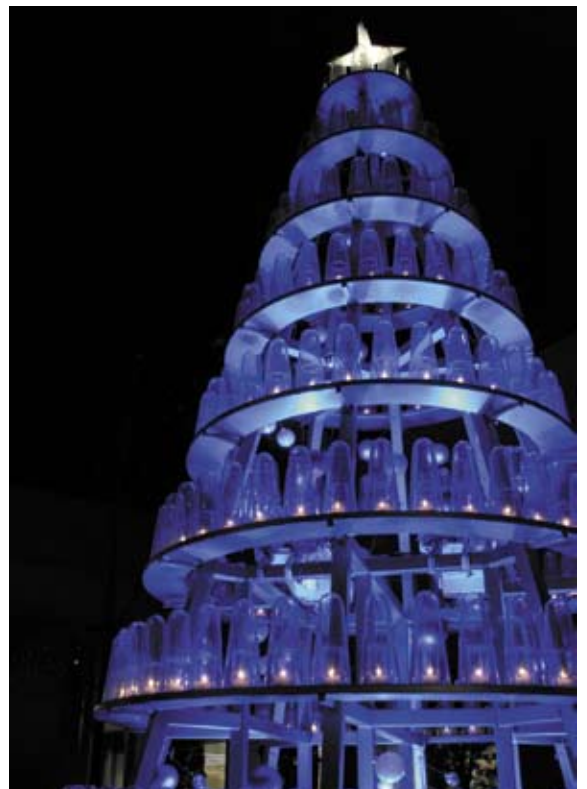
#### ■2005年クリスマスイルミネーションを調査して

イルミネーションは普段の照明とは違った観点から見てしまう。イベント性が強いからかもしれない。ある一定の期間だけ、いつもと違う世界を創り出す光のマジックのようだ。見る人が望むのはいつも以上に楽しい雰囲気やロマンチックな空間なのだろう。中でも光の量と芸術の両面で、ミレナリオはとくに多くの人を魅了していたように思う。それは徹底されたコンセプトと光の量による完成度の高さ。この2つが大きな光のインパクトを人々に与えた理由だと考えられる。小さな光源を使ったイルミネーションは、ある程度の量が必要だと感じた。

汐留シオサイトのツリーはキャンドルを使っていて印象的だったが、空間に比して物足りなさを感じてしまった。

2005年イルミネーション全体を通して見ると、多くの場所で光源にLEDが使われるようになったと痛感した。LEDは輝度が高い分、街の中ではイルミネーションの光源が浮き立ち、目立つように見えるが、景観としてはかえって暗くなっているように感じる。イルミネーションはその時その場所に合った世界を創り出すものであると思う。ぜひそれぞれに合った使い方をしたいと思う。

(川瀬 さや香)



汐留のキャンドルツリー

# 第27回街歩き 秋葉原 変容を遂げる電気街とその光

2005.11.09

最近巷を席卷している“萌え～”の発祥の地、秋葉原。オタク都市としての注目が高まる一方で、積極的な開発が進行中です。都市の大きな変容を予感させる秋葉原の過去と今と未来の混在の中に、ひかり萌え探偵団は何を見て取ることが出来たのでしょうか。



中央道（秋葉原電気街）



中央道の両側エレベーション

## ■新興開発スポットとジャンクマーケット

JR 秋葉原駅電気街口に集合した探偵団は、手始めに2005年の春にオープンしたダイビルに向かいました。IT 関連産業の世界的な拠点を作ることを目的する“秋葉原クロスフィールド”の切り込み隊長としてオープンしたダイビルの外観は、今の秋葉原に抱くイメージとは隔世の感がありますが、ウォールウォッシャーで照らし出された十分に天高の取られた空間と青色 LED で演出された公開空地は、これまでの秋葉原では体験できなかった空間を作り出しています。

現在の秋葉原は、つくばエクスプレスの開通、D-Akihabara という期間限定ミュージアムの開催など積極的な開発がなされています。ダイビルがもたらした風景からは、新しい秋葉原の姿が垣間見えるようです。

エスカレータで2階へ上がると、眼前にはほぼ同じレベルにある電車のホームに山手線が入ってきたり出て行ったりという風景が展開します。その奥には、大きなボリュウムを持ったヨドバシカメラが控えますが、そのほかに空に向かってそびえる物がまだなく、電車のホームは暗い空を背景に従えてドラマチックな景を演出します。この風景は、今回の街歩きを通して発見した素敵なシーンのひとつです。

ダイビル周辺の見学の後、探偵団は3つのグループに分かれ、電気部品専門店がひしめき合う一角に足を伸ばし、グループごとにおもしろいヒカリモノの探索に出かけました。（そこで入手したヒカリモノは11月17日に行われたサロンにて発表されました）。

このような電気部品専門店には、掘り出し物がどこかに眠っているのではないかとワクワク感があります。雑然とした宝の山から自在にいろいろと取り出しては、気軽に質問にも答えてくれるお店の主とのやりとりのおもしろさも、このマーケットの魅力ではないでしょうか。

（村岡 桃子）

## ■世界一のオタクビル街

電気部品専門店を後にした探偵団は3つのグループに分かれ、中央通の電気街を調査しました。この通りを彩っている巨大看板をつけたファサードを巻物にするため連続した画像を記録していきましました。オタク街（電気街）をエレベーションで見ると、広告が非常に多いということが分かります。個人が主役の街であり、個人の力で、秋葉原という文化を創りだしてきたためでしょうか。さまざまな大きさの広告が、照明により個々の存在を示しています。同時に、秋葉原という街の趣味や志向がそのまま表現されてもいます。

照明手法としては、オタクビルのトップに大きなネオンの広告があり、ファサードには建物の顔を塞いでしまうくらい長い広告が上下からライトアップされています。もっとも光が溢れていたのは低層部であり、ここには無駄という以外当てはまらないような照明手法が使用されていました。建物の入り口付近には商品が高密度で並べられ、それと同様に蛍光灯も高密度に並べられて輝いていました。そこは昼間のように明るく自然と店内に引き込まれるような感じになり、通り全体で見ると低層部分は光の帯が輝いて見えます。

しかし再開発されたビルにはこのような光が存在せず、小綺麗で落ち着いた雰囲気でした。オタク文化であるこの街に、再開発により志向の違った IT 関連の施設や高層マンションが並置されることは、世界一のオタク文化にどのような影響を与えるのでしょうか。また、光環境が今後どのように変化していくのかとても楽しみです。

（山本 幹根）



ダイビル前の公開空地



つくばエクスプレス秋葉原駅



電気部品専門店



高密度に並べられた蛍光灯

# 第30回 研究会サロン

街歩き、ライトアップニンジャ@ Bali、ダラス・フォートワースなど  
2005.11.17

今回のサロンでは、ライトアップニンジャ@ Bali や Transnational Tanteidan Forum 2005 in NYC のイベントとダラス・フォートワース、長崎、横浜の都市照明調査に加え、秋葉原街歩きについての報告が行われました。

今回のサロンは少しいつもと気分を変えて、2005年7月にオープンした(株)遠藤照明の青山ショールームをお借りして行われました。秋葉原街歩き報告、国内調査レポートとして長崎と横浜、海外調査レポートとしてアメリカ/ダラス・フォートワース、そして8月にパリで行われたライトアップニンジャ、9月にニューヨークで行われた Transnational Tanteidan Forum の報告など盛りだくさんな内容となりました。いつもより広い会場に質問や意見が飛び交い充実した報告会となりました。

## ■長崎と横浜の国内調査報告

はじめに中山レイチェル団員から7月に行われた長崎の調査報告です。「長崎は、ちゃんぽんな街として有名ですが、照明もちゃんぽんでした。」と稲佐山からの写真が紹介されました。永津努団員と山本幹根団員から、身近にあって、おざなりにされがちな関東圏・横浜の調査報告が行われました。昼と夜の表情の違いが、豊富な写真とスケッチによって、紹介されました。

## ■ダラス・フォートワースの海外調査報告

平岩洋介団員は、「ライティング・カウボーイ」と題し、アメリカ・テキサス州にあるダラスとフォートワースの調査報告を行いました。テキサスの熱い日差しをカットする熱反射ガラスに覆われたビル群が、エッジライトの目立つ特徴的な夜景をつくり出しています。フォートワースにある、有名なルイス・カーンのキンベル美術館に隣接して2002年に設立された安藤忠雄氏のフォートワース近代美術館。壁面を照らす照明計画により、水盤に建築の映り込む写真が紹介されました。

## ■秋葉原街歩き報告

村岡桃子団員ほかから11月に行われた街歩きの報告が行われました。クロスフィールドやつくばエクスプレスの開通など目覚ましい開発途中にある秋葉原ですが、電気街のファサードも健在です。3チームに分かれて、ひとつひとつ丁寧に巨大看板をつけたファサードを撮影し、記録した巻物が制作されました。前回の街歩きで調査した銀座のファサードと比較が行われ、会場を唸らせました。また街歩きに参加した西土映子団員から感想が述べられ、川瀬さや香団員からディスプレイやファサードの一端をグラフィックに面白く切り取った写真が紹介されました。各チームが調達したヒカリモノの紹介では、街の電気屋さんではあまり見かけない小物のライトが注目されました。



面出薫団長の話を聴く熱心な団員のみなさん

## ■ライトアップニンジャ@ Bali の報告

岡本賢団員と上田夏子団員から、8月に行った世界照明探偵団のイベント・ライトアップニンジャ@ Bali の映像が報告されました。

バリ島では乾季の風物詩として、大きな凧をチームでどこまで揚げられるかを競い合うカイトフェスティバルがあります。照明探偵団と武蔵野美術大学の学生は、その大凧にインスピレーションを受け、それぞれ自前の光る大凧を制作して遠征しました。

大成功した光る凧揚げワークショップに続き、現地で行われたケチャダンスワークショップでは、50名のダンサーが照明探偵団の用意したLEDやサイリウムを身に付け興奮の舞踏を魅せてくれました。腰巻一枚と光る腕輪を身に付けたダンサーに会場も釘付けとなりました。

■ Transnational Tanteidan Forum in NYC の報告  
世界照明探偵団(www.tanteidan.org)が1年に一度集まる世界大会が2005年にNYCで第4回大会を成功させました。田沼彩子団員から、ニューヨーク大会の映像が報告されました。

今回は、“Lighting for Main Street(s)”をテーマに、ニューヨーク、ハンブルグ、ストックホルム、コペンハーゲン、シンガポール、東京の照明探偵団6支部から、それぞれに个性的なプレゼンテーションが行われました。今年の11月末には第5回大会がシンガポールで行われる予定です。

(上田 夏子)



電気街と銀座(上)のファサードの巻物



秋葉原で見つけたヒカリモノの紹介



扉を開けるとショールーム

【照明探偵団の活動は以下の 22 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社  
岩崎電気株式会社  
カラーキネティクス・ジャパン株式会社  
松下電工株式会社  
株式会社ウシオスペース  
ヤマギワ株式会社  
山田照明株式会社  
マックスレイ株式会社  
ニッポ電機株式会社  
株式会社エルコ・トートー  
株式会社ウシオライティング  
日本フィリップス株式会社  
トキ・コーポレーション株式会社  
東芝ライテック株式会社  
大光電機株式会社  
株式会社 MARUWA  
小泉産業株式会社  
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社  
ルイス ポールセン ジャパン株式会社  
湘南工作販売株式会社  
小糸工業株式会社  
株式会社遠藤照明

